

筋ジストロフィー病棟療養支援の現状と未来

佐藤郁子[†] 下平悦子¹⁾ 枘本理恵¹⁾ 早矢仕翔太¹⁾ 岩田怜奈²⁾
 宇野椋哉³⁾ 弓岡美咲³⁾ 加藤佳子³⁾ 甲斐美津江³⁾ 山田祐司³⁾
 副島寛司⁴⁾ 林誠弥⁵⁾ 児山智香⁶⁾ 熊澤明里⁶⁾ 米倉圭子⁷⁾
 田中恵子⁷⁾ 竹本初美⁸⁾ 竹内裕子⁹⁾ 竹村真紀⁹⁾ 須田恵子⁷⁾
 太田純子⁷⁾ 飯本雅美⁸⁾ 安田邦彦¹⁰⁾ 船戸道徳¹¹⁾

第77回国立病院総合医学会
2023年10月20日 於 広島

IRYO Vol. 78 No. 5 (307-311) 2024

要旨

筋ジストロフィーの患者が長期に入院して療養する病棟（筋ジストロフィー病棟）では在宅移行が一つの重要な支援となる。しかしながら、必ずしもすべてが満足の結果となるわけではない。国立病院機構長良医療センター（当院）においては、この10年間（2013年～2023年）に3名のデュシェンヌ型筋ジストロフィーの患者の在宅移行支援に携わってきたが、現在も在宅療養を行っているのは1名のみである。患者自身の希望や病状、家族の支援体制、多職種連携などが重要と考えられ、当院では2014年から筋ジストロフィーサポートチームを結成して、あらゆる場面でチーム医療を実践しているが、在宅移行においては、受け手である地域との密な連携が重要であることを実感している。今回は当院で行っている取り組みの中で筋ジストロフィー病棟の未来という観点から、とくに、アドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning：ACP）と短期入所事業について紹介する。当院では2022年4月から在宅療養中の患者においても外来でACP面談を開始した。それまで急変後の地域連携がほとんどであった在宅クリニックなどとの連携が、ACPによって、より踏み込んだ連携が可能となり、患者や家族の不安が軽減したり、計画的な気管切開を行えたりすることに繋がっている。また、短期入所事業では、従来の介護者の休養だけでなく、患者の苦悩や困難に対する取り組みや患者の自立を目的とした取り組みを実施している。当院において、筋ジストロフィー病棟の長期療養と在宅療養は似て非なるものであったが、病棟からの在宅移行だけでなく、在宅から病棟を眺めることで、より密接な地域連携が可能になり、患者のQOL向上に繋がっていると感じている。筋ジストロフィー病棟の未来は在宅療養と共に伴走することにあるのではないかと考える。

キーワード 在宅移行, 地域連携, アドバンス・ケア・プランニング, 短期入所事業

国立病院機構長良医療センター 看護部

1) 地域連携室, 2) 薬剤部, 3) リハビリテーション科, 4) 臨床工学技士室, 5) 放射線科, 6) 臨床検査科, 7) 治験管理室, 8) 栄養管理室, 9) 療育指導室, 10) 小児外科, 11) 神経小児科 †看護師

著者連絡先：佐藤郁子 国立病院機構長良医療センター 看護部 〒502-8558 岐阜県岐阜市長良1300-7

e-mail : sato.ikuko.bd@mail.hosp.go.jp

(2024年4月5日受付 2024年8月2日受理)

Current Situation and Future of Medical Support in Muscular Dystrophy Wards

Ikuko Sato[†], Etsuko Shimodaira¹⁾, Rie Masumoto¹⁾, Syota Hayashi¹⁾, Reina Iwata²⁾, Ryoya Uno³⁾, Misaki Yumioka³⁾, Yoshiko Kato³⁾, Mitsue Kai³⁾, Yuji Yamada³⁾, Hiroshi Soejima⁴⁾, Seiya Hayashi⁵⁾, Chika Koyama⁶⁾, Akari Kumazawa⁶⁾, Kei Yonekura⁷⁾, Keiko Tanaka⁷⁾, Hatsumi Takemoto⁸⁾, Yuko Takeuchi⁹⁾, Maki Takemura⁹⁾, Keiko Suda, Jyunko Oota, Masami Iimoto, Kunihiko Yasuda¹⁰⁾ and Michinori Funato¹¹⁾

Department of Nursing 1) Department of Regional Cooperation, 2) Department of Pharmacy, 3) Department of Rehabilitation, 4) Department of Clinical Engineering, 5) Department of Radiology, 6) Department of Clinical Examination, 7) Department of Clinical Research Management, 8) Department of Nutrition Management, 9) Department of Guidance on Medical Treatment and Education, 10) Department of Pediatric Surgery, 11) Department of Pediatric Neurology, NHO Nagara Medical Center

(Received Apr. 5, 2024, Accepted Aug. 2, 2024)

Key Words : transition to home care, regional cooperation, advance care planning, short-stay service